

令和4年度 地域包括ケアシステム構築に向けた地域づくりについて（菅地区）

1.菅地区の地域特性

- (1) 全域が菅町会の範囲
- (2) 稲田堤駅周辺は平地で、菅仙谷・菅北浦周辺は坂が多い
- (3) 高齢者の住民が多い大規模集合住宅がある
- (4) 多摩川沿いは洪水の危険性が高く、菅仙谷・菅北浦周辺は土砂災害の危険性が高い
- (5) 町会を中心に防災・防犯のまちづくりを推進し、互助的な取組を実践
- (6) 町会加入率は5割未満
- (7) 歴史的な寺社仏閣や伝統的なお祭り・行事がある
- (8) 梨園の跡地の宅地化などにより民間介護事業所（主に有料老人ホーム）が多い

2.これまでの主な取組

- (1) **町会ヒアリング調査（H29年度～）**
菅町会は10の小地区で構成。規模と組織力を活かして防災・防犯、イベント・広報等の活発な取組がされている。定期的に町会から情報収集。（R2年度、5回）
- (2) **地域包括支援センターとの連携（H29年度～）**
高齢者施設・事業所との情報交換会への参加やカフェの立上げ支援など。
サンビームヒルズ西菅で介護予防教室スタート（令和元年9月～毎月）。
菅の里との担当者会議（R2年度2回）、花ハウスにヒアリング（R2年度1回）
- (3) **キーパーソンヒアリング（H30年度～）**
民協、町会役員、社協、集合住宅関係などから地域の情報収集。
- (4) **菅町会大運動会でのオープンワークショップ（H30年度）**
町会関係者と地域住民の意識の差、山側と平地側の違いを把握。
- (5) **集合住宅への働きかけ（H30年度～）**
ふじのき台団地共助委員会に菅芝間住宅の「さわやか訪問活動」を紹介。
「ふじのきゲームカフェ」
（令和2年3月立ち上げ予定であったがコロナ禍で中止）。
ふじのき台共助委員会にヒアリング（R2年度）



菅町会大運動会でのオープンワークショップの様子



3. 令和4年度の地域づくりの取組

- (1) (仮) Team SUGE 地ケアプロジェクト
～菅地区の小地域における「困り事・心配事」を把握し、**地域の実情**に応じた取組を考えよう～
ア 目的
 - ・菅地区と地区内の活動団体の「困り事・心配事」を共有・把握すること
 - ・共有・把握した「困り事・心配事」を行政だけでなく、関係団体等と**連携**して、対応すること
 - ・それらを踏まえ、「困り事・心配事」の**解決策**の一つとして、**区内の様々な活動団体や場所などの地域資源**を把握し、**新たなつながり、新たな取組**が生まれる**環境・きっかけ**を作る
 - ・将来的には、「地ケ算」をきっかけとした新たな枠組み支え合いの地域づくりの体制・しくみを形成する**イ 実施内容（令和4年度～令和6年度の3ヵ年スケジュールで進めていきます）**
 - ＜ステップ1（R4）＞**
課題の把握、資源やニーズを整理する
 - ・地域課題の共有及び地域資源の整理
 - ・活動現場の調査・確認（ツアー）
 - ・ツアーの振り返り、取組テーマの設定
 - ＜ステップ2（R5）＞**
取組を共創する
 - ・「地域課題×地域資源×取組テーマ」で取組の企画検討
 - ・取組のスマールスタート
 - ＜ステップ3（R6）＞**ステップ2で企画したものを実現してみよう！
取組の実施と継続する方法を検討する。
- (2) **菅の里庭づくりプロジェクトの後方支援**
ア 「ゆるやかなつながりづくり」から「地域の支え合い」へ
コロナ禍で地域カフェなどの取組が難しいため、屋外で集える取組を新たに創出するため、「菅の里」と「川崎市緑化センター」をマッチング。
今年度、タネから育てる花壇づくり講座（全3回）を実施中。将来的には、講座の卒業生を菅の里ガーデンボランティアを担っていただき、新たな居場所、新たなつながりを創出。
イ 関係者
菅の里地域包括支援センター（主体）（イ）川崎市緑化センター（協力）（ウ）区役所（支援）



【6/30 キックオフ会議】



【7/29 第1回会議】



【9/26 第1回講座】

4. スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地区担当者会議	●必要に応じて随時実施											▶
5 地区合同定例会		27 日						7 日				第3回
(仮) Team SUGE 地ケアプロジェクト			30 日 (キックオフ会)	29 日 (第1回～1回会議)		7 日 (第1回～2回会議)		現地視察・調査・ツアー			24 日 (第2回会議)	
菅の里地域包括支援センター中庭の活用						26 日 (第1回)	24 日 (第2回)		5 日 (第3回)			

